

資格の学校
TAC

2026年合格目標 [LICENSE GUIDE]
2026.7-2026.11

1級電気工事士 施工管理技士

二次
検定
10月

プロフェッショナル

電気工事の安心と品質を守る

経験を“得点”に
変える。

経験記述の
添削付き

時間がなくても、
やり切れる。

コンパクト設計
カリキュラム

早

割

キャンペーン

2次対策コースの入会金
(¥10,000・税込)は
不要です

2026年 7/10(金)～9/6(日)

2次対策コース

全2回

添削付き

通常受講料
29,000円

→ **27,000円**

キャンペーン受講料

※受講料には教材費・消費税が含まれます。詳細は中面をご確認ください。

Webで“いつでも”かんたん申込み!

受付

TACのお申込みサイト



資格の学校 **TAC**

<https://www.tac-school.co.jp/>

1級電気工事施工管理技士

1級電気工事施工管理技士とは

1級電気工事施工管理技士は、建造物の建設や増築などに必要な電気工事に関する施工計画の作成、工事現場における工程・品質・原価・安全などの管理、電気工事の監理をおこなうことができる国家資格で、一次、二次の双方の試験に合格することで取得することができます。1級電気工事施工管理技士の資格を取得することで、特定建設業の許可基準の一つである「営業所ごとに置く専任の技術者」、建設工事の現場に置く専任の「監理技術者」として認められるとともに、経営事項審査における技術力の評価において、計上する技術者数にカウントされるなど、施工技術の指導的技術者として社会的に高い評価を受けます。

1級電気工事施工管理技士補とは

1級電気工事施工管理技士補は、1級電気工事施工管理技士を補佐する資格で、一次検定に合格することで取得することができます。所定の大規模な工事現場には、本来、監理技術者を専任で置かなければなりませんが、技士補を専任で置くことにより、監理技術者は2つの現場を兼任できることになります。また、技士補は二次検定に合格することにより、1級電気工事施工管理技士になることができます。（二次検定の受検にあたって有効期間や受検回数の制約はありません。）



1級電気工事施工管理技士の主な受検資格

※詳細は一般財団法人 建設業振興基金ホームページをご確認ください。

	第一次検定	第二次検定※1
令和6年度より	19歳以上であれば誰でも受験可能	●1級第一次検定合格後 ・実務経験5年以上 ・特定実務経験1年以上を含む実務経験3年以上 ・監理技術者補佐としての実務経験1年以上 ●2級第二次検定合格後 ・実務経験5年以上（1級第一次検定合格者に限る） ・特定実務経験1年以上を含む実務経験3年以上（1級第一次検定合格者に限る）

※1「第一次検定合格」については、令和3年度以降の第一次検定合格が対象、また「2級第二次検定合格」については、令和2年度以前の2級技術検定合格も対象
※令和10年度までの間は経過措置期間として、制度改正前の受検資格要件による第二次検定受検が可能

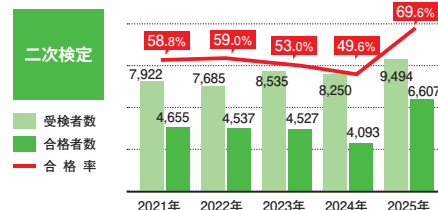
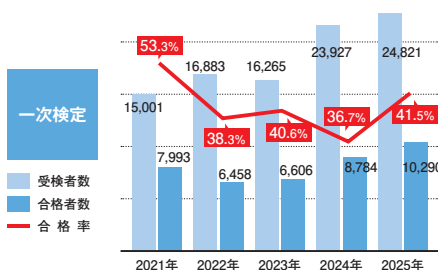
試験制度

※試験の日程・形式・受検資格等は変更になる可能性があります。受検の際は必ず最新の受検の手引をご確認ください。

※1級電気工事施工管理技術検定の詳細は一般財団法人 建設業振興基金の施行管理技術検定ホームページ (<https://www.fcip-shiken.jp/>) をご確認ください。

試験日	第一次検定	令和8年 7月12日(日)	試験地	全国10地区		
	第二次検定	令和8年10月18日(日)				
合格基準	第一次検定	全体で得点が60%以上(89問中60問解答し36問以上の正解)かつ、施工管理法(応用能力)で得点が50%以上(6問中3問以上の正解)	第二次検定	60%以上		
試験の内容	検定科目		検定基準		知識/能力	解答形式
	第一次検定	電気工学等	1. 電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な電気工学、電気通信工学、土木工学、機械工学及び建築学に関する一般的な知識を有すること。 2. 電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な発電設備、変電設備、送配電設備、構内電気設備等(以下、「電気設備」という。)に関する一般的な知識を有すること。 3. 電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な設計図書に関する一般的な知識を有すること。		知 識	四択択一 (マークシート)
		施工管理法	1. 監理技術者補佐として、電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な施工計画の作成方法及び工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理方法に関する知識を有すること。	知 識	四択択一 (マークシート)	
			2. 監理技術者補佐として、電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な応用能力を有すること。	能 力	五択択一 (マークシート)	
	法規	建設工事の施工の管理を適確に行うために必要な法令に関する一般的な知識を有すること。	知 識	四択択一 (マークシート)		
	第二次検定	施工管理法	1. 監理技術者として、電気工事の施工の管理を適確に行うために必要な知識を有すること。	知 識	五択択一 (マークシート)	
			2. 監理技術者として、設計図書で要求される電気設備の性能を確保するために設計図書を正確に理解し、電気設備の施工図を適正に作成し、及び必要な機材の選定、配置等を適切に行うことができる応用能力を有すること。	能 力	記 述	

合格率



二次検定合格のポイント



NG 答案を書かない！

試験委員に読まれやすい
経験記述が書けるか？



重要度の高い用語をマスター！

用語をいかに
攻略できるか？



出題傾向の変化に対応！

新傾向の施工経験記述・
計算問題を攻略できるか？

1級電気工事施工管理技士 2026年度 第二次検定 合格目標

2次対策コース 全2回 添削付き

二次検定の攻略法を短時間でコンパクトにマスター！



- ポイントを絞ったカリキュラムで**短時間攻略**！
- 経験記述の**添削付き**で自身の経験をわかりやすく文字にする方法がわかる！
- 一次検定で計算を避けてきた人も、しっかり**計算問題で得点が取れる**ように！

対象者 一次検定合格レベルの初学者、受験経験者

教材 2次対策テキスト ※TACオリジナルテキスト（各問の解答作成方法／直近2年分の過去問解説／過去10年分の出題傾向一覧と頻出項目の解答例収録）
施工経験記述 答案用紙（問1・2用）

質問制度 質問メール：10回 答案添削 1回 受講期限 2026年11月末日（Web視聴期限等）

学習メディア ビデオブース+Web講座 Web通信講座

受講ガイドはHPにて
ご確認ください



！カリキュラム

※講義時間は1回約60分です。
※答案提出のための発送料は自己負担となります（180円切手が必要）。

回数	学習テーマ			新傾向に対応！	ビデオ・Web 視聴開始日	Web通信講座 教材発送日・送付物
第1回	問題1・2対策	問題1・2	施工経験記述 添削付き	経験した工事に関して、工程管理・品質管理・安全管理の3つのテーマについて、自身の経験記述としての書き方とポイントを解説します。	2026年7月23日（木） ※Web視聴期限は2026年11月30日までとなります。	2026年7月17日（金） ● 2次対策テキスト ● 施工経験記述 答案用紙（問1・2用）
第2回	問題3～6対策	問題3	施工管理に関する記述問題			
		問題4	電気工事に関する用語説明問題			
		問題5	電気工事に関する計算問題			
		問題6	「建設業法」「電気事業法」に関する問題 出題傾向、記述例や重点的に学習すべき内容を確認しながら攻略法と学習のポイントを解説します。			

■ 受講料・コース No. 一覧		2026年7月10日(金)～9月6日(日)		2026年9月7日(月)～			
2次対策 コース	メディア	コースNo.	早割キャンペーン受講料(税込)※1	コースNo.	通常受講料(税込)	コースNo.	再受講割引受講料(税込)※2
	 ビデオブース+Web講座	264-406	¥27,000	264-408	¥29,000	264-410	¥14,500
	 Web通信講座	264-407	¥27,000	264-409	¥29,000	264-411	¥14,500

■クラス No.

ビデオブース+Web講座																	Web通信講座
仙台校	水道橋校	渋谷校	新宿校	池袋校	八重洲校	立川校	町田校	大宮校	津田沼校	名古屋校	京都校	梅田校	なんば校	神戸校	広島校	福岡校	W1
J0	20	L0	G0	30	F0	M0	A0	C0	V0	50	60	70	B0	E0	N0	80	

※「2次対策コース」の入会金（¥10,000・10%税込）は不要です。会員番号につきましては、TAC各校またはカスタマーセンター（0120-509-117）までお問い合わせください。 ※受講料には教材費・消費税10%が含まれます。 ※TAC取扱代理店（大学生協・書店等）割引、NEXT割引、日商簿記ステップアップ割引がご利用いただけます（割引の併用は不可）。 ※e受付（インターネット申込）ではご利用いただける割引制度を一部に限定させていただきます。割引申込の利用条件等詳細は、e受付サイト（<https://ec.tac-school.co.jp/>）の「割引について」をご確認ください。 ※郵送でのお申込みは承っておりません。 ※TAC申込規約、HP記載の受講ガイド・各種規定、個人情報の取扱いをご確認の上、お申込みください。

※1【早割キャンペーン申込上の注意】

※TAC取扱代理店（大学生協・書店等）割引、NEXT割引、日商簿記ステップアップ割引、法人割引がご利用いただけます（割引の併用は不可）。

※2【再受講割引について】

・対象者：過去にTAC1級電気工事施工管理技士講座「2次対策コース」を受講したことがある方。

・利用方法：TAC受付窓口申込みの際は必要書類（過去受講時会員証）を窓口提示してください。e受付にてお申込みされる際は対象者の方はe受付にログインすることで再受講割引受講料にてお申込みいただけます。

※再受講割引は他の割引との併用はできません。

ダブル・トリプルライセンスで効果を最大限に！ 電気・設備系国家資格なら**TAC**！

電気工事士

開講講座 ▶ 第二種 / 第一種

住宅や工場、施設などのさまざまな建物や設備で電気が安全に使用できるよう、電気工事の作業を行うことができる国家資格。

TAC電気
工事士講座
HP



冷凍機械責任者

開講講座 ▶ 第三種

工場や倉庫などの施設で冷凍設備の管理や保守、点検立会いや監督、メンテナンス業務などを行うことができる、高圧ガス製造保安責任者という国家資格の区分のひとつ。

TAC冷凍
機械責任者
講座HP



ボイラー技士

開講講座 ▶ 二級

ビルや工場の給湯設備や関連機器を安全に運用するため、火気や高温ガスを使用するボイラーの運転・点検・修繕に必要な専門知識と技能を備える国家資格。

TAC
ボイラー
技士講座
HP



危険物取扱者

開講講座 ▶ 乙種第4類

消防法に基づくガソリン、灯油、カリウム、過酸化水素などの危険物を取り扱うために必要となる国家資格。

TAC危険物
取扱者講座
HP



消防設備士

開講講座 ▶ 甲種第1類/乙種第1類/
甲種第4類/乙種第4類/乙種第6類

建物などに設置されている消火器やスプリンクラー、火災報知設備、救助避難設備などの消防設備の点検や整備、工事を行うことができる国家資格。

TAC
消防設備士
講座HP



電気主任技術者

開講講座 ▶ 電験三種/電験二種

発電所や変電所、工場やビルなどに設置される電気設備の保守・監督を行うための国家資格。

TAC電気
主任技術者
講座HP



無料Webセミナー

TAC動画チャンネルで
無料セミナー・体験講義を順次公開予定

TAC動画チャンネル



TAC1級電気工事施工管理技士講座

▶コースの詳細、最新情報は
ホームページをご覧ください

TAC 電気工事施工管理技士



1級電気工事施工管理技士
講座のお申込みに関する
お問い合わせは

TACカスタマーセンター

通話無料

0120-509-117

受付時間

10:00～17:00

356-0902-1003-16